

12月議会的一般質問は、9日と10日の二日間で行われ、議長を除き13名中10名が質問に立ちました。今回植田好雄は、里親制度について取り上げ、子どもの人権を守り、子育ての充実に向けての課題について、公園の整備と拡充についての2項目を質問しました。

里親制度と子育て支援の充実を

植田 虐待や親の死亡、病氣、行方不明、子供自身の障がいなど様々な事情で自分の家庭で生活出来ない子供を、公的な責任で養育や保護を「社会的養護」と言います。社会的養護で生活する子供は全国で4万5千人、この内里親に委託の子供は5382人、児童養護施設や乳児院など施設で約3万9千人の子供が生活しています。少子・高齢化で、子供の人口は減る一方ですが、社会的養護で生活する子供たちは横ばいで推移しています。日本は、8割が児童養護施設、2割が里親などの家庭生活をしています。欧米は昔から9割が養子縁組や里親、1割が施設で、日本に対して国連や人権団体から改善を求められています。まず、虐待相談の現状と相談件数について伺う。

子育て支援課長 令和3年度11月までの児童虐待の相談件数は、就学前児童が4件、小学生が5件、中学生が1件の計で10件です。児童虐待の種類の件数は、身体的虐待が2件、ネグレクトが4件、心理的虐待が4件でした。

植田 里親制度は、豊かな愛情を持つて家庭の中で、社会性を育む子供のための制度です。里親制度の役割や必要性の認識を伺う。

子育て支援課長 「子供が権利の主体である事」「家庭養育優先の理念」などが規定され、実親による養育が困難な場合、施設よりも里親などの家庭的な環境で養育が望まれていると認識しています。

植田 浜田管内での里親は26世帯が登録されています。現状の認識は。

子育て支援課長 島根県社会的養育推進計画を策定し、里親委託の推進に向け「中学校区ー里親登録」に向けた取組が進められていると認識しています。

植田 教育委員会などの認識と教職員の啓発について伺う。

学校教育課長 家庭的な環境で愛情に包まれ生活する事は、子供の心と体の安定に重要であり、里親制度は必要と認識しています。教職員の啓発は、県のチラシなどで啓発を行い、制度の理解は十分にされ、常に意識して対応しています。

植田 「いのちの授業」が有りますが、出生時の事や赤ちゃんの時の写真、生まれた時の両親の気持ちなどのテ

マは、里親や養子縁組の親には埋め難い問題であり、配慮はされているが、一般的に血縁主義の家族観から非血縁家族など多様な家庭観の視点が重要になっています。次に、里親制度の裾野が広がらない課題について伺う。

子育て支援課長 登録里親の確保について、制度自体が社会に知られていないため、養子縁組を前提の印象が強く、里親を引き受ける希望者が少ないことや、事故やトラブルに遭遇した場合、里親として責任が心配で登録申請に至らないなどが挙げられています。その他、実親の同意の問題、児童の抱える問題が複雑化しており里親への委託が困難なケースが増えている事があります。

植田 児童相談所との連携や、里親に関する情報提供など普及に向けた取組について伺う。

子育て支援課長 広報紙への掲載、ポスターの掲示やチラシを地域コミュニティ交流センター、保育施設などへ10月の里親月間に行い、毎年こうつ秋まつり会場で児童相談所や関係機関と啓発活動や子育て支援に関する出前講座を開催し、里親制度の紹介をしながら「里親制度はあまり認識してなかった」という事で、まずは知って頂く事が必要だと考えます。

植田 里親の開拓について、福岡市では委託率の向上という事で、児童相談所に職員を派遣する取り組みがされている。県との人事交流で、社会的資源の里親の開拓に向け、県との協力・連携の考えを伺う。

子育て支援課長 里親制度は県の事業として進められており、社会的養育推進計画の中で、市町村の広報紙などで啓発が掲げられており、県の依頼に基づき協力して行きます。

植田 島根県社会的養育推進計画「中学校区ー里親」を連携し取り組んでいただきたいと思います。浜田地区里親会では里親の交流会が行われて、経験談や悩み相談の交流が行われています。本市で里親会との意見交換や今後の取組の課題は。

子育て支援課長 里親会との意見交換などは行っていないが、浜田地区の里親会総会に出席し、今後行われる里親大会等への参加は、現在検討をしている。

ショートステイ事業の導入を

植田 ファミリーサポート事業で宿泊預かりは出来ません。浜田市ではショートステイ事業が4月から里親も委託先として実施されている。ショートステイ事業の導入の考えは。

子育て支援課長 本市は委託できる児童養護施設がない事が課題でした。第10次地方分権一括法で、市町村が直接里親への委託が可能となり、導入は今後検討していく事業と認識しており、ニーズなど事業実施に何が必要か、里親の数の問題、県や児童相談

所、浜田地区の里親会などとも相談し課題を整理したい。

植田 子供たちを地域や社会で育てていく制度が求められています。まずは制度をつくり安心して子育てができる環境を整えることが重要であり、早急に制度化を求めたい。

公園の整備と拡充を

次は、公園の整備の充実について、公園設置の基準について伺う。



菰沢公園

建設政策課長 公園は、自然景観の保全を目的とする自然公園、環境の保全、遊び場、防災等を目的とした都市公園です。街区公園は半径250メートルのうちに1つ、近隣公園は半径500メートルのうちに1つ、地区公園は半径1キロメートルのうちに1つ、規模は、街区公園は0.25ヘクタール、近隣公園は2ヘクタール、地区公園は4ヘクタールを敷地面積の標準と定めています。

植田 街区公園は0.25ヘクタールですが、これより狭い公園もある。また、トイレの有る所、無い所、有っても簡易で男女兼用が1つの所もあります。トイレの設置の考え方は。

建設政策課長 公園の種類、規模で異なり、必ずトイレを設置する決まりはないが、他の都市公園の事例を参考にし、計画する公園について必要十分な数を配置する必要がある、以上の方針に基づき、都市公園18公園の内、トイレ設置公園は11公園、設置していない公園は7公園です。

植田 高齢者、障がい者、乳幼児などバリアフリートイレの設置を。

建設政策課長 トイレ設置1公園の内、4公園はバリアフリーに対応トイレです。他の7公園は、今後改修や修繕が生じた際に、可能な限りバリアフリー化が必要と考えています。

植田 遊具は、安全確保に関する指針や基準に沿って適切に遊具などは点検されていると思います。ベンチは釘がむき出しや藤棚が朽ち「立入禁止」とロープが張りつぱな状態になっているが早急の対応が必要では。

土木建設課長 遊具は公園施設製品安全管理士による遊具の安全性の点検・判定を毎年実施し、適正な管理に努め、必要に応じて使用制限の措置を行い、不具合箇所は補修や遊具本体の撤去、更新を行います。附帯設備は、定期的な巡回点検や公園利用者の通報により、補修等の対応を行い、規模により予算の確保が必要となり、利用者の安全確保のため、長期間使用制限を行うこともあり、引き続き適切な対応、管理に努めます。

植田 背丈の高い植栽など、外部からの視界が悪い所の管理は。

建設政策課長 4月から12月末までに年4回程度の刈り込みや剪定を行

い、年間を通じて健全な状況を維持できるように植栽管理業者へ業務を委託しています。植栽管理は、植栽配置の目的や意図を阻害しないように、剪定、枝打ち、刈り込み、施肥、散水、除草などを行い、植栽が良好に育成するために行われています。本市の植栽管理業務では計画的に刈り込みや剪定作業を行っています。背丈が高くなり外部からの視界が悪くなるような植栽の箇所につきましては、景観上の配慮も必要とは思いますが、防犯上の観点から死角とならないように適宜植栽管理を行っています。

植田 複数の公園がある地区や全くない地区があり、敬川地区では子供と安心して遊べる公園設置の要望がある。都市公園の拡充の考えは。

建設政策課長 居住地域内に歩いて行ける公園が地域によって不足は認識しています。街区公園整備は、都市計画マスタープランにも掲載しており、地域の実情に応じた維持管理を進め、立地適正化計画の居住拠点地区において、街区公園や子育て支援施設の少ない地区は優先的に小公園整備に努める事としています。

インクルーシブな公園を

植田 250メートル以内の歩いて行ける、お孫さんを連れて安心して遊べる公園を整備していくことを都市計画マスタープランに沿って計画をして頂き、更に、公園はどんな人もウエルカムであるべきで、障がいがある子もいない子も一緒に楽しめる公園が望まれています。インクルーシブ公園の認識について伺う。

建設政策課長 インクルーシブ公園は、障がいの有無にかかわらず、誰もが安全、快適に遊べるように設計、整備された公園で、近年日本国内でも少しずつ整備が始まっています。インクルーシブな公園づくりの考え方は利用者の利便性の向上や魅力アップにもつながり、どのようなインクルーシブ遊具にニーズがあるのか把握し、周辺施設や公園内外の動線計画の配慮が非常に重要と考えます。

植田 菰沢公園は車椅子でも回れますが、遊具を使って障がいの有無は別に一緒に遊べる状況は有りません。インクルーシブ遊具は、障がいがあってもなくても一緒に子供たちが遊べる遊具ですが、導入の検討を。

建設政策課長 インクルーシブ公園の整備について、随時トイレや駐車場などバリアフリー化を図り、整備しています。インクルーシブ遊具の設置は、新規格整備の遊具、更新時にインクルーシブ遊具の設置を検討し、誰でも安全、快適な公園に整備をします。

植田 インクルーシブ遊具は公園ばかりでなく、保育所・学校も必要です。子育ての充実した江津市になる事を求めて、私の質問を終わります。

